

パブリックコメント閲覧用

読書を通して
共に幸せを生きる人材の育成を

第2次福知山市子どもの読書活動推進計画

平成28年3月

福知山市教育委員会

目次

第1章 計画策定の基本的な考え方.....	1
1 計画策定の趣旨.....	1
2 計画の位置づけと期間.....	1
3 計画の策定体制.....	2
第2章 福知山市の現状と課題について.....	3
1 福知山市の子どもの現状.....	3
2 第1次計画における取組.....	3
第3章 「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」の基本方針.....	6
1 計画の理念.....	6
2 計画の推進体制.....	7
3 施策体系.....	8
第4章 「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」の具体的方策.....	9
1 家庭で本と出会う.....	9
2 保育園・幼稚園で本と出会う.....	11
3 学校で本と出会う.....	13
4 市立図書館で本と出会う.....	15
5 地域で本と出会う.....	18
参考資料.....	19
用語集.....	19
第1次計画における取組とアンケートの分析.....	20
『平成27年度 全国学力・学習状況調査』の分析.....	28
策定委員会 委員等名簿.....	29

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、京都府では平成16年3月に「京都府子どもの読書活動推進計画」が策定されました。

福知山市では新図書館建設計画にあわせ「福知山市立図書館基本計画」と「福知山市子どもの読書活動推進計画」（以下「第1次計画」という。）を平成20年3月に策定しました。

第1次計画は、福知山市のすべての子どもが生涯を通して「本に出会い、本を知り」、「本に親しみ、本を活かし」、「本と生き、本を伝える」ことができるようになることを目的に、家庭・学校・地域・公共施設をはじめ、府内の関係機関と連携して読書環境を整備するとともに、子どもの読書活動を積極的に推進して、文化の薫り高い「読書のまち・福知山」を築いていくことを基本方針としています。

平成27年1月に「京都府子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）」が策定されたことを踏まえ、平成27年度に見直しを行い、「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけと期間

(1) 関連計画

年月	主な計画
平成13年12月	「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定
平成16年3月	京都府が「子どもの読書活動推進計画」を策定
平成20年3月	福知山市が「福知山市図書館基本計画」「福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定
平成27年1月	京都府が「京都府子どもの読書活動推進計画」（第三次推進計画）を策定

(2) 計画の期間

計画期間は、平成28年度からおおむね5年間とします。

年度	H20 ~ H27	H28 ~ H32
福知山市子どもの読書活動推進計画	第1次・前計画	第2次・本計画

3 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、本市の小中学校及び保育園、幼稚園をはじめ関係機関における子どもの読書活動について現状と課題を洗い出し、学識経験者や子どもの読書活動の有識者などから構成される策定委員に意見をいただきながら、子どもの読書活動に関する課題、対策などの協議を行いました。

(1)「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」策定委員会

本計画は、学識経験者やボランティア関係者などから構成される「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画策定委員会」での意見や計画案の検討などを踏まえたうえで策定しました。

(2)「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」庁内委員会

庁内の関係部署から構成される「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画庁内委員会」で策定委員会の協議資料や計画の素案を作成しました。

(3) アンケート調査の実施

学校や保育園、幼稚園、児童館、放課後児童クラブなどにおける子どもの読書活動の現状を把握し、課題を洗い出すためにアンケート調査を実施しました。

【調査の概要】

調査対象	小学校（22校） 中学校（11校） 高等学校（6校） 保育園（29園） 幼稚園（5園） 児童館（10施設） 放課後児童クラブ（19施設）
調査時期	平成27年8月
調査方法	郵送・メール等による配布・回収
対象施設総数	102施設
回収数（回収率）	96施設（94%）

第2章

福知山市の現状と課題について

1 福知山市の子どもの現状

『平成27年度 全国学力・学習状況調査』の結果から見ると、「読書が好き」と回答した児童・生徒の割合は全国とほぼ同じ傾向にありますが、実際に読書する時間や学校図書館または図書館に行く回数は全国数値より少ない傾向にあり、課題があると考えられます。

「新聞を読んでいる」という設問に対する回答は、全国より少し多い結果となっています。

2 第1次計画における取組

(1) 家庭で本と出会う

さまざまな機会をとおり家庭での読書の大切さを啓発してきました。しかし、家庭環境が多様化する中、家庭における読書の推進にはばらつきがあります。

4か月児健診時にブックスタート(※)を実施し読みきかせを体験してもらうことで、親子で絵本の読みきかせを行なうことの大切さの啓発を図りました。

今後も、家庭における読書の楽しさと大切さを広めるための取組を行う必要があります。

(2) 保育園・幼稚園で本と出会う

保育園や幼稚園では図書コーナーを設置し絵本の貸出を行うなど、子どもたちが本と出会える環境づくりに努めました。絵本の読みきかせや人形劇、絵本の紹介などを行ない、積極的に読書の楽しさを体験する機会の充実に努めましたが、読書の楽しさを家庭に広げることについては課題が残ります。

今後も、子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを広げていけるよう保育園・幼稚園での取組に努める必要があります。

※ブックスタート → P19 用語集参照

(3) 学校で本と出会う

全ての市立小中学校で「読書活動推進計画」が作成され、読書活動に対する取組姿勢が見られます。平成23年度からは学校司書が中学校ブロックごとに1名配置され、平成25年度からは「佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金」を活用して学校図書館の資料を購入していますがまだまだ十分とはいえず、今後も学校図書館の環境整備や資料充実を図る必要があります。

小学校では朝読書(※)やボランティアによる読書活動を行うなど読書に関わる取組が積極的に行われていますが、中学校は「実施する時間の確保が難しい」などの理由から取組が十分ではなく課題が残ります。

今後は、読書の楽しさだけでなく学習に対する興味・関心を呼び起こし、児童生徒の自発的・主体的な学習活動に発展するよう学校図書館の充実を図る必要があります。

(4) 図書館で本と出会う

市立図書館で開催しているおはなし会などの種類や回数を増やし、講座の充実に努めました。また、4か月児健診時に実施しているブックスタートで市立図書館の案内や講座のチラシを配布し、幼児期からの図書館利用の促進を図りました。

移転後の市立図書館中央館にティーンズコーナーを設置し、中学生・高校生向けの図書の実充を図りました。また、オープニングイベントの高校生出演や「おはなしのひろば」での読みきかせ、高校生手作りポップの展示など、高校生と連携した取組に努めました。しかし、連携が不十分なため今後の継続した取組に課題が残ります。

子ども向けの大活字本や点字絵本、マルチメディア DAISY(※)などすべての子どもたちが読書に親しめるための資料の収集に努めました。しかし、活発な資料の利用には至らず活用方法や広報などの取組に課題が残ります。

読書ボランティア養成講座を開催するなどボランティアへの支援を行いました。受講者への積極的な働きかけや、ボランティア活動の場の提供などが不十分でした。また、学校をはじめとする関係機関と連携した市立図書館の有効活用への取組も不十分な状態で課題が残ります。

今後は、関係機関やボランティアと連携した子どもの読書活動を推進する体制を整備する必要があります。

※朝読書・マルチメディア DAISY → P19 用語集参照

(5) 地域で本と出会う

児童館や放課後児童クラブでは、読みきかせなどの取組が行われています。東部・西部・北部の保健福祉センターでは、図書館やボランティアと連携して絵本の読みきかせを実施しました。

小学校で読みきかせのボランティアを行なっている方を中心とした「学校読書ボランティアの会」が例会を開催し、ボランティア同士の連携や情報交換の場となりました。しかし、ボランティアと各機関との連携体制は整備されておらず、各地域では読書活動の推進にばらつきがあり課題が残ります。

今後は、地域においてどのような取組を行なうことができるのか検討する必要があります。

(6) その他

4か月児健診時に実施しているブックスタートの「読みきかせ体験」を継続して行いました。ブックスタートで絵本と絵本袋をプレゼントし、「おすすめ絵本リスト」や図書館のおはなし会などの講座の案内を渡すなど読書活動の啓発に努めました。

職員の児童サービス向上のため京都府立図書館の研修に参加し、地域文庫の図書を充実させるため府立図書館の貸出文庫制度(※)を活用するなど、府立図書館と連携した取組を行いました。しかし、その他の目立った連携は行えておらず、学校をはじめとする関係機関との連携も不十分な状態で課題が残ります。

移転後の市立図書館中央館を子どもの読書活動の中核施設とし、各機関が連携して子どもの読書活動に取り組めるよう検討する必要があります。

今後は、関係機関と連絡調整できる体制を構築し、子どもの読書活動を推進していく必要があります。

読書ボランティア養成講座の開催などボランティアのスキルアップのための取組を行いましたが、講座受講者が活動する場の提供などの取組が不十分で課題が残ります。

また、「(仮称)福知山市子どもの読書活動推進連絡会」が未設置のため、計画の実施状況を把握し推進する体制が不十分でした。

今後は、定期的に子どもの読書活動の推進を検証する庁内体制と外部組織による推進体制の整備を検討する必要があります。

※貸出文庫制度 → P19 用語集参照

第3章

「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」 の基本方針

- 1 読書の楽しさを広げる
- 2 読書をとおして学ぶ力・考える力・判断する力を身につける
- 3 生きる力を培い『共に幸せを生きるまちづくり』を進める人材を育成する

1 計画の理念

子どもの読書活動を推進するために大切なことは、子どもたちが「読書の楽しさを体験すること」と、「体験できる環境を整えること」です。本計画では、子どもたちが生涯にわたって読書・本を身近に感じ、楽しむことのできる取組の実施に努めます。

石井桃子さんは「新編 子どもの図書館」で、次のように書かれています。

「子どもが、本（文字）の世界にはいって得る利益は、大きく分けて二つあると思います。一つは、そこから得た自分の考え方、感じ方によって、将来、複雑な社会でりっぱに生きてゆかれるようになること、それからもう一つは、育てゆくそれぞれの段階で、心の中で、その年齢で一ばんよく享受できる、たのしい世界を経験しながら大きくなってゆかれることです。」

（石井桃子「新編 子どもの図書館」『石井桃子集5』岩波書店、1999年 まえがき より）

このように、読書は子どもたちに新しい出会いや発見をもたらす、日常生活とは違う世界に導きます。導かれた物語の世界をとおして、子どもたちは自らの内に感性と創造する力を育てていきます。

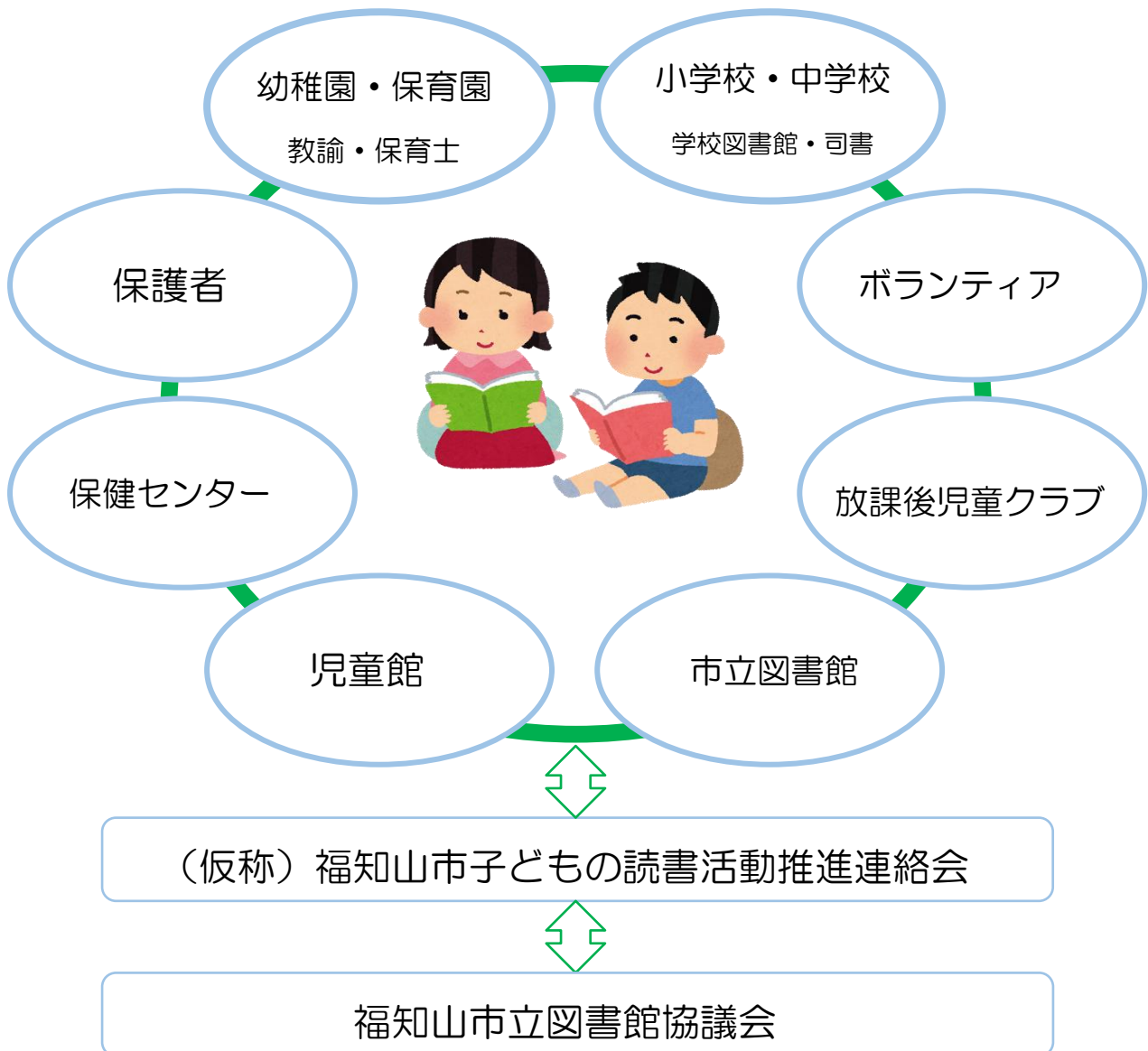
幼いころからの読みきかせにより「言葉」と「人とのかかわり」を体験すると、子どもは安心感と周囲の人への信頼感を培い、自分が大切にされているという自己肯定感を獲得します。何より、大好きな人と大好きな絵本を読んで過ごした時間と記憶は、生涯にわたって心の財産となり、大切な意味を持ちます。

さらに読書をとおして人は、知識や情報を得ることができます。知識や情報は、経験したことについて理解を深めるだけでなく、経験したことのないことについても、学び、考えさせます。人は読書をとおして得た知識や情報をもとに学び、考え、自分の意見を育み、物事を判断する力を身につけます。自分で物事を判断する力は、自己・個の確立につながり、それは、生きる力を培うことにもなります。

本計画は、福知山市の子どもたちが読書を楽しみ、読書をとおして「生きる力」を
培い成長する環境を整え、福知山市の教育目標である『自分のために 人のために 社
会のために 共に幸せを生きる人材の育成』を目指します。

2 計画の推進体制

本計画の実施状況を把握し、関係機関との連携を深め効果的な読書活動推進を図る
ために、庁内に「(仮称) 福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を設置します。

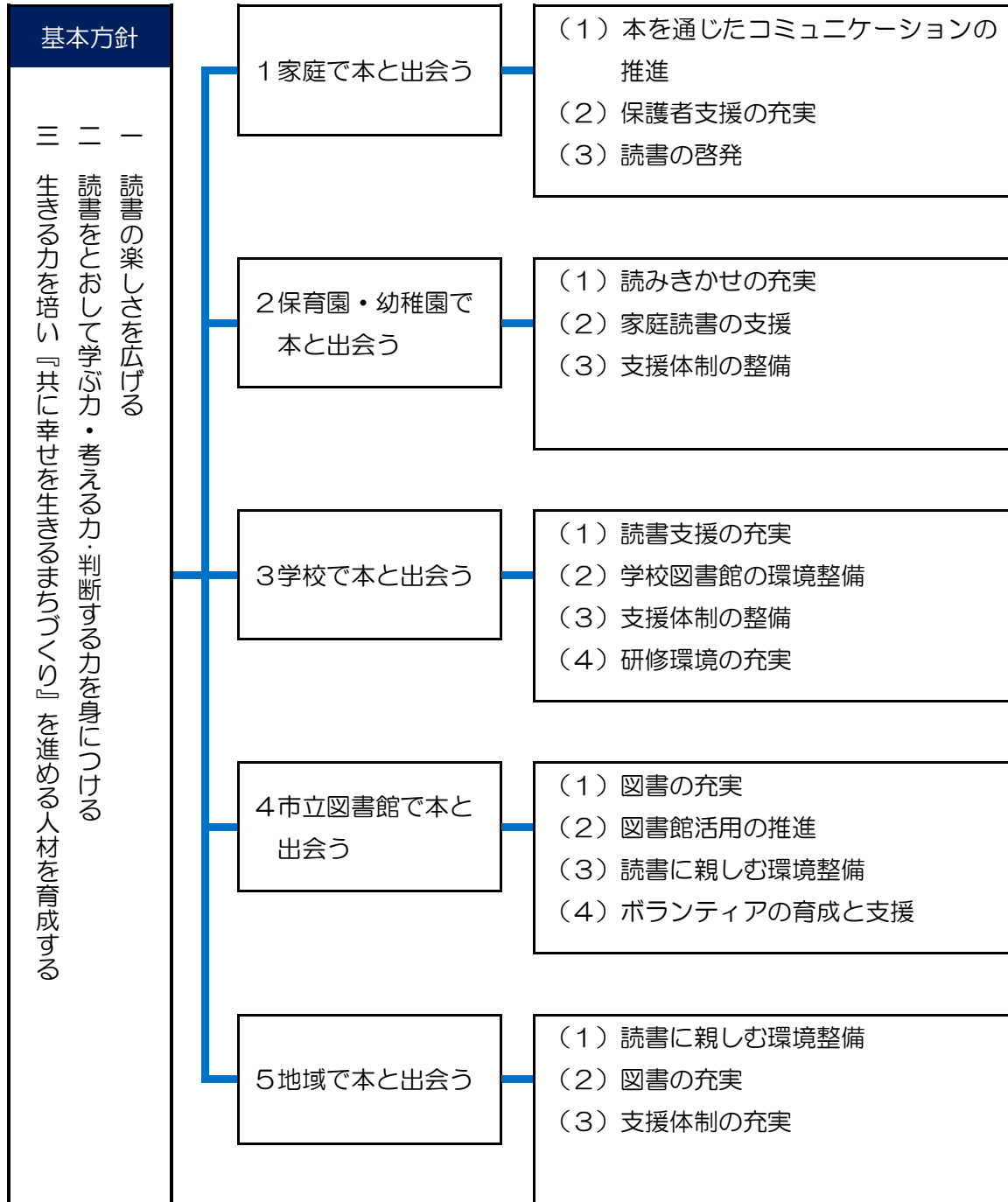


本計画の実施状況については、毎年度「福知山市立図書館協議会」(※)に報告し、
施策の評価や見直しについての協議を行うことで本計画の着実な推進を図ります。

※福知山市立図書館協議会 → P19 用語集参照

3 施策体系

第1次計画の実績と課題、及び本章に示した基本方針を踏まえて、次の5つの子どもを取り巻く環境から子どもの読書活動を推進していきます。



第4章

「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」 の具体的方策



1 家庭で本と出会う

— 言葉とふれあい、人とふれあいます —

子どもにとって、乳児期の言葉の体験は大切です。子どもは自分の耳で周りの音や人の声を聴き、その目で新しい世界を見て育ちます。家庭は子どもにとって、人間として尊重され安心して日常生活を送り健やかに成長する大切な居場所です。

人への信頼感の基礎を培うこの時期に、家庭で本と出会い、言葉を学び、感性を磨き、創造する力を豊かなものにする取組を進めていきます。

(1) 本を通じたコミュニケーションの推進

事業内容・具体的取組

- 読みきかせや読書が、子どもとのコミュニケーションに有用であることを啓発する講演会などの開催に努めます
- 幼稚園 PTA 連絡協議会や市連合 PTA、子ども会指導者連絡協議会などを通じて幼児期・学齢期の子どもたちが本に接することの大切さを訴え、家庭での読書の啓発を図ります
- 「パパママ学級」などで絵本を紹介し、読みきかせなど親子で読書するきっかけづくりに努めます。
- 講座（市立図書館のおはなし会やなど）や講演会をとおして、読みきかせなど親子で読書を楽しむ機会を提供します

(2) 保護者支援の充実

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none">○ 4か月児健診時に実施しているブックスタートでの「読みきかせ体験」を継続して行います○ 保護者が読みきかせの楽しさを知るため「読みきかせ体験」などの機会の充実に努めます○ 市立図書館や学校図書館、保育園・幼稚園などで「気軽に読書について相談できる」環境の整備に努めます○ 市立図書館の子ども向け大活字本やマルチメディアDAISYなどの資料についてお知らせし、障害がある子どもたちの支援に努めます○ 市立図書館の活用を促す案内を母子手帳交付時に渡します○ 親子で読書を楽しめる場所や講座（市立図書館のおはなし会や工作教室など）の広報に努めます○ 「(仮称) 福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を通じて読みきかせなどの事業について情報を共有し、連携して周知が図れるよう努めます

(3) 読書の啓発

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none">○ 「としょかんだより」や「学級通信」、図書のリストなどを配布し、読書の啓発に努めます○ 読書運動を啓発する「夜の10分間読書」や「家読(うちどく)」(*)などのポスターやチラシを作成・配布します○ 絵本の展示や紹介する環境を整え、読書のきっかけづくりに努めます○ テーマに応じた図書のリストやおすすめ絵本のリストなどを作成・配布します

*家読(うちどく) → P19 用語集参照

2 保育園・幼稚園で本と出会う



— 本の世界を見つけ、楽しさを体験します —

本と出会い読書の楽しさを体験できるように、保育園・幼稚園で子どもと絵本との出会いを支援していきます。保育園・幼稚園で心豊かに読書の楽しさを味わった子どもたちが、家庭に帰ったあとも本とふれあう機会が増えるような取組を進めていきます。

(1) 読みきかせの充実

事業内容・具体的取組

- 毎日、保育士や教師による読みきかせを実施するよう努めます
- 子どもが身近に本と触れ合えるよう読書コーナー設置などの環境整備に努めます
- 家庭でも読みきかせができるよう絵本の貸出などの支援体制づくりに努めます
- ボランティアと連携し、子どもが読みきかせなどの読書の楽しさと出会う機会の充実に努めます
- 子どもたちの読書体験をより豊かなものとするため、保育士や教師に対する読みきかせに関する研修や講演会の開催に努めます
- 読みきかせなどの知識やスキル向上のための研修などを職員が受講できるよう環境整備に努めます

(2) 家庭読書の支援

事業内容・具体的取組

- 参観日、懇談会などの機会に、毎日の生活に絵本を取り入れる工夫について紹介するなど「絵本を活用した子育て」の提案に努めます
- 保育園・幼稚園や市立図書館で開催する講演会などの広報に努め、保護者の参加を促します
- 「園だより」や「としょかんだより」、図書のリストを作成・配布し本の紹介に努めます

(3) 支援体制の整備

事業内容・具体的取組

- 市立図書館が運営する移動図書館の活用を保育園・幼稚園に広く広報します
- 市立図書館と連携して、図書館「体験」事業の活用を図ります
- 「(仮称) 福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を通じて、人材を必要としている幼稚園・保育園とボランティアとの調整を図ります
- 市立図書館の移動図書館や団体利用を活用し、保育園・幼稚園の図書充実に努めます

3 学校で本と出会う



— 子どもの意欲的な読書活動を支援します —

学校図書館は、学校教育の中で児童生徒が自由に読書を楽しみ、創造力を培い、豊かな心を育む機能と、学習に対する興味・関心などを呼び起こし児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与する機能を果たすことが期待されます。

学校図書館の運営に当たっては校長のリーダーシップのもと、司書教諭や学校司書が中心となって教職員や保護者などが連携・協力し、それぞれの立場から学校図書館の機能充実につながる取組を進めていきます。

(1) 読書支援の充実

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校で朝読書を毎日実施し、その継続に努めます ○ 中学校に適応した読書活動の取組を検討し、実施を目指します ○ 「学校だより」や「学級通信」などを活用して児童生徒や保護者に読書の大切さを啓発します ○ 「としょかんだより」や図書リストなどを作成・配布し、読書に興味をもつ機会の充実に努めます

(2) 学校図書館の環境整備

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての市立小中学校の学校図書館を毎日開館するよう努めます ○ 学校図書館の機能を十分に活かすため、学校司書の配置に努めます ○ 「学校だより」などを活用し、学校図書館の広報に努めます ○ 市立図書館の団体利用や「佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金」などを活用し、学校図書館の図書の充実を図ります

(3) 支援体制の整備

事業内容・具体的取組

- 学校と市立図書館が連携し、図書館「体験」事業の活用を図ります
- 学校全体で読書活動を推進する機運を高めるための読書活動の推進や図書館教育に関する研修の開催に努めます
- 職員のスキルアップのための、読書活動の推進や図書館教育に関する研修などを受講できるような環境整備に努めます
- 「(仮称)福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を通じて学校司書と市立図書館が連携し、学校図書館のより良い運営方法について情報を共有し検討を図ります
- 「(仮称)福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を通じて学校と学校司書やボランティアなどが連携し、情報の共有やより良い活動の検討を図ります
- 「(仮称)福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を通じて学校と幼稚園やボランティアなどが連携し、学年に応じた取組の大切さを共有して実施に努めます

(4) 研修環境の充実

事業内容・具体的取組

- 学校図書館の選書の参考となるよう、調べ学習などに活用できる図書を集めた「図書の見本市」に参加するなど学校図書館の充実につながる取組の検討とその実施に努めます
- 本を長く使用するための修本(本の修理)技術など、スキルアップのための研修を職員が受講できるような環境整備に努めます



4 市立図書館で本と出会う

— 読書をとおして、子どもの世界を広げます —

図書館は、子どもにとって読書の楽しみや本によって得る知識や情報の多さを知るばかりでなく、地域やそこで出会う人ともつながることができる生活と成長に必要な機能を有する施設です。

図書館の機能を最大限に活用し、子どもの読書活動に関わる学校や保育園、幼稚園、児童館、放課後児童クラブ、地域文庫、ボランティアなどと連携・協力することで、読書活動を推進していきます。

(1) 図書の実充

事業内容・具体的取組

- 「佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金」などを活用し蔵書の充実に努め、平成31年度末に児童書所蔵数 130,000冊を目指します
(平成26年度末所蔵数：100,779冊)
- 中学生・高校生の利用を促進するため、ティーンズコーナーの充実に努めます
- すべての子どもたちが読書に親しめるよう特別支援学校や特別支援学級と連携を図り、子ども向け大活字本やマルチメディアDAISYなどの資料の充実に努めます
- 移動図書館の資料の充実に努めるとともに、京都府立図書館の学校支援セット貸出(※)の活用を促進するなど児童生徒の読書環境の充実に努めます

(2) 図書館活用の推進

事業内容・具体的取組

- 図書館「体験」事業を企画し、児童生徒に対して図書館活用の教育を図ります
- 図書館と学校が連携し、図書館「体験」事業の活用を促します
- 「(仮称)福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を通じて、図書館「体験」事業の活用を広く周知します

※学校支援セット貸出 → P19 用語集参照

(3) 読書に親しむ環境整備

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援センターや保健福祉センターなどとの連携を強化し、幼児期からの読書を推進するとともに図書館の活用を広報します ○ 図書館のおはなし会や工作教室などの講座の充実を図り年5, 000人以上の参加者を目指します ○ 「子ども読書の日」(※) や読書週間(※) を記念した、読書の楽しさを体験できる取組(ワークショップや講演会など)の開催に努めます ○ 中学生・高校生の職場体験の受け入れの拡充に努めます ○ 中学生・高校生との合同事業(中高生による読みきかせや手作りポップの展示など)を企画し、中学生・高校生の活動の場の提供に努めます ○ 学校と連携し図書館を学校情報の発信の場として提供することで、図書館が生徒たちの身近な存在となることを目指します ○ 「(仮称)福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を通じて、学校司書との問題の共有や情報交換に努めます ○ 学校図書館での調べ学習などに活用できる図書を集め「図書の見本市」を開催し、学校図書館の選書(※)の参考になるよう努めます ○ 本を長く使用するための修本技術などの研修の開催に努めます

(4) ボランティアの育成と支援

事業内容・具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「(仮称)図書館読みきかせボランティア養成講座」を開講し、ボランティアの育成に努めます ○ 「(仮称)図書館読みきかせボランティア養成講座」の受講者を「(仮称)図書館読みきかせボランティア」として登録し、活動の場を提供するよう努めます ○ 「(仮称)福知山市子どもの読書活動推進連絡会」を通じて、人材を必要としている施設とボランティアとの調整を図ります

※子ども読書の日・読書週間・選書 → P19 用語集参照

*図書館「体験」事業とは・・・

見学だけでなく、図書館活用の教育を図る観点から考えた新しい事業です。

< (仮) 事業メニュー >

①施設見学体験	書架や自動貸出機などの館内設備の見学をとおして、図書館を体験します
②本探し体験	館内資料検索用パソコン（OPAC）を活用して、書架から本を探す体験をします
③調べ学習体験	テーマに沿って資料を探し、百科事典の使い方や報告書の書き方など調べ学習を体験します
④貸出体験	借りたい本を選び自動貸出機（※）を使用して、貸出を体験します
⑤おはなし会体験	おはなし会に参加し、おはなしの世界を体験します

※自動貸出機 → P19 用語集参照



5 地域で本と出会う

— 人と本とのかかわりで、豊かな交流のまちをつくります —

子どもの読書活動を推進するためには、身近なところで読書に親しめる環境を整備し、お互いに連携しながら活動を進めていくことが重要です。

地域での読書環境を豊かにし、子どもの創造力や知識の獲得に大きな役割を果たすために、子どもが集まる場所で読書活動の推進を図ります。

(1) 読書に親しむ環境整備

事業内容・具体的取組

- 地域において読書できる児童館や地域文庫などの広報に努めます
- 「福知山市生涯学習まちづくり出前講座」(※)の広報に努め、地域での読書活動の充実を図ります

(2) 図書の実

事業内容・具体的取組

- 市立図書館の団体利用を活用し、児童館・放課後児童クラブなどの図書充実にも努めます
- 地域と市立図書館が京都府立図書館と連携し、貸出文庫制度を活用することで地域の図書の充実を図ります

(3) 支援体制の充実

事業内容・具体的取組

- 読みきかせに関する研修や講演会の開催に努め、子どもたちの読書体験をより豊かなものとするよう努めます
- 「(仮称) 図書館読みきかせボランティア」と関係機関との連携体制の整備を図ります
- 図書館の「(仮称) 図書館読みきかせボランティア養成講座」を活用し、読みきかせを行なうボランティアの養成を図ります

※福知山市生涯学習まちづくり出前講座 → P19 用語集参照

参考資料

用語集

用語	解説
ブックスタート	1992年に英国で始まった取組で、日本では2001年4月に12市町村が実施をはじめ、全国各地域に広がっている。 福知山市では、平成15年度から4か月児健診時にボランティアによる絵本の読みかかせを親子で体験してもらうとともに、絵本などのプレゼントを行なっている。
朝読書	朝の読書運動。小・中・高等学校において読書を習慣づける目的で始業時間前に読書の時間を設ける取組で全国に広まりつつある。
マルチメディア DAISY	視覚障害者や活字だけでは文の内容を理解しづらい人なども読みやすいように、本の文字と画像が音声と同時に再生されるよう作成されている電子図書。
貸出文庫制度	府立図書館による、まとまった冊数の一括長期貸出。福知山市立図書館を経由して、地域文庫に貸出している。
福知山市立図書館 協議会	福知山市立図書館条例第7条及び福知山市立図書館条例施行規則第5条の規定に基づき、図書館協議会を置く。図書館協議会の設置は、図書館法第14条に基づく。図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関。
家読（うちどく）	家庭での読書。家族が一緒になって読書を楽しむ時間を過ごし、読書を通じて家族のコミュニケーションを図る取組。
学校支援セット貸出	府立図書館が学校に対して、調べ学習等に役立つ図書をテーマごとにセットで貸出を行なう取組。
子ども読書の日	2001年12月に公布・施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、国民の間に広く子どもの読書活動について関心と理解を深めるために、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため設けられた。国や地方公共団体は子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならないと定められている。
読書週間	1947年に読書の力によって、平和な文化国家を作ろうという決意のもと始まった取組で全国に広まっている。
選書	学校図書館や市立図書館で購入する図書を選ぶこと。限られた予算の中でその図書館に必要な図書の内容に偏りなく購入するよう選ぶこと。
自動貸出機	利用者自身が機械を操作して貸出手続きを行うもの。 2014年に移転した市立図書館中央館に導入されている。
福知山市生涯学習 まちづくり出前講座	平成11年からはじまった市内に在住、在勤または在学する人10人以上で構成された団体・グループ・サークルなどが主催する催しへ市職員等が出向き、制度の説明や講演を行う取組です。市立図書館では「たのしいお話し会」メニューを行なっている。

第1次計画における取組とアンケートの分析

(1) 保育園・幼稚園向けアンケート（回答数：保育園 26園・幼稚園 5園）

問① 毎日、絵本の読みきかせなどの時間を設けている

答え はい（保育園 25園 / 幼稚園 5園） いいえ（保育園 1園 / 幼稚園 0園）

問② ①が「いいえ」の場合のみ）週に読みきかせをしていますか

答え 保育園 （1園 / 週6日）

問③ 読みきかせなどにボランティアを活用している

答え はい（保育園 3園 / 幼稚園 2園） いいえ（保育園 23園 / 幼稚園 3園）

問④ ボランティアの活動回数

答え 月2回 （保育園 1園 / 幼稚園 1園）

年2回 （保育園 1園 / 幼稚園 0園）

その他 （保育園 1園 / 幼稚園 1園）

※幼稚園では、定期的な活動ではなく園の要望に応じて活動されています

問⑤ ボランティアを活用していない理由

答え 職員が実施しているから （保育園 22園 / 幼稚園 1園）

人がいないから （保育園 0園 / 幼稚園 0園）

その他 （保育園 2園 / 幼稚園 2園）

※「今後始める予定」や「ボランティアを募集していない」、「機会をとらえていない」などの回答もありました

問⑥ 園の絵本などの貸出を行っている

答え はい（保育園 13園 / 幼稚園 5園） いいえ（保育園 13園 / 幼稚園 0園）

問⑦ 保護者へ読みきかせを啓発している

答え はい（保育園 19園 / 幼稚園 5園） いいえ（保育園 7園 / 幼稚園 0園）

問⑧ 啓発の具体的な取組

答え ○ 園だよりやクラスだよりを用いて読みきかせを啓発 （16園）

○ 参観日などで読みきかせ （5園）

○ 講演会の開催 （5園）

○ 懇談会で読みきかせを啓発 （4園）

○ 絵本紹介コーナーを設置 （2園）

○ 保護者用の本を置いている （1園）

○ おすすめの絵本を購入してもらう （1園）

問⑨ 市立図書館の団体貸出などを利用している

答え はい（保育園 14園 / 幼稚園 2園） いいえ（保育園 12園 / 幼稚園 3園）

問⑩ 団体貸出を利用していない理由

答え 園の本が充実している （保育園 8園 / 幼稚園 1園）

時間がない・遠い （保育園 3園 / 幼稚園 1園）

利用方法が分からない （保育園 1園 / 幼稚園 0園）

無回答・その他 （保育園 4園 / 幼稚園 2園）

※「必要がない」や「知らない」、「今後利用する予定」、「職員が個人的に利用」などの回答もありました

問① 求める読書支援サービス

答え	読みきかせ・おはなし会	(保育園 13園 / 幼稚園 5園)
	研修会の開催	(保育園 9園 / 幼稚園 2園)
	貸出セット・団体貸出サービス	(保育園 4園 / 幼稚園 3園)
	その他	(保育園 1園 / 幼稚園 0園)
	特になし	(保育園 7園 / 幼稚園 0園)

※「出張のおはなし会」という回答もありました

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

- 移動図書館を子どもたちは大変楽しみにしている
- 絵本離れが進んでいることを危惧しており、園での啓発に力を入れていきたい
- どこの保育園にも、園から行ける環境があれば更に親子の絵本に対する関心が高まるのではないかと
- 読書支援サービスの定期的な実施があると、園の年間行事に盛り込むこともできる
- ボランティアが利用できるのであれば、利用したい。ボランティアの情報がほしい
- 講演会などを目にするが、なかなか行くことができないので、機会を増やしてほしい
- 色々な絵本を育ちに活用できるようにしてほしい
- 関心の薄い家庭では、読みきかせの機会も少ないということがある
- 親子で絵本タイムの楽しさを味わってもらい、読みきかせの大切さを理解してもらえよう園での働きかけを工夫していきたい

(2) 小学校・中学校向けアンケート (回答数：小学校 22校・中学校 11校)

問① 「読書の時間」を設けている

答え はい (小学校 22校 / 中学校 11校) いいえ (小学校 0校 / 中学校 1校)

問② 学校図書館を毎日開館している

答え はい (小学校 21校 / 中学校 10校)

【内訳】	1時間未満	(小学校 6校 / 中学校 7校)
	5時間以内	(小学校 3校 / 中学校 1校)
	10時間以内	(小学校 11校 / 中学校 1校)
	10時間以上	(小学校 1校 / 中学校 0校)
	昼休み	(小学校 0校 / 中学校 1校)

問③ 学校図書館を定期的に開館している (毎日開館ではない)

答え はい (小学校 1校 / 中学校 1校)

【内訳】	小学校	(週3日 / 計1時間)
	中学校	(週1日 / 計10分)

問④ 児童・生徒数及び貸出冊数 (平成26年度)

答え	【児童・生徒数】	100人未満	(小学校 10校 / 中学校 3校)
		500人未満	(小学校 10校 / 中学校 5校)
		500人以上	(小学校 2校 / 中学校 2校)
		無回答・その他	(小学校 0校 / 中学校 1校)
	【貸出冊数】	1,000冊未満	(小学校 3校 / 中学校 7校)
		5,000冊未満	(小学校 8校 / 中学校 1校)
		50,000冊未満	(小学校 9校 / 中学校 0校)
		50,000冊以上	(小学校 1校 / 中学校 0校)
		無回答・その他	(小学校 1校 / 中学校 3校)

【児童・生徒 1 人当たりの貸出冊数】

1 冊未満	(小学校 0 校 / 中学校 2 校)
100 冊未満	(小学校 16 校 / 中学校 6 校)
100 冊以上	(小学校 5 校 / 中学校 0 校)
無回答・その他	(小学校 1 校 / 中学校 3 校)

問⑤ 読書活動推進のための取組を行っている

答え はい (小学校 19 校 / 中学校 3 校) いいえ (小学校 2 校 / 中学校 8 校)
無回答 (小学校 1 校 / 中学校 0 校)

問⑥ 取組の内容 (複数回答あり)

答え 【内容】 読みきかせ (小学校 19 校 / 中学校 0 校)
ブックトーク (小学校 3 校 / 中学校 1 校)
本紹介 (小学校 3 校 / 中学校 0 校)
無回答 (小学校 1 校 / 中学校 2 校)

【対象】 全学年 (小学校 6 校 / 中学校 1 校)
低学年(小学 1 年～3 年) (小学校 17 校)
高学年(小学 4 年～6 年) (小学校 3 校)
特別支援学級 (小学校 3 校 / 中学校 0 校)
無回答・その他 (小学校 5 校 / 中学校 2 校)

【回数】 毎日 (小学校 4 校 / 中学校 0 校)
週に数回 (小学校 8 校 / 中学校 0 校)
月に数回 (小学校 8 校 / 中学校 0 校)
学期に数回 (小学校 0 校 / 中学校 2 校)
不定期 (小学校 3 校 / 中学校 0 校)
無回答・その他 (小学校 2 校 / 中学校 1 校)

【時間】 1 時間未満 (小学校 11 校 / 中学校 0 校)
朝読書 (小学校 5 校 / 中学校 1 校)
授業中 (小学校 2 校 / 中学校 0 校)
昼休み(給食含む) (小学校 2 校 / 中学校 0 校)
無回答・その他 (小学校 2 校 / 中学校 2 校)

問⑦ ボランティアを活用している

答え はい (小学校 21 校 / 中学校 0 校) いいえ (小学校 1 校 / 中学校 11 校)

問⑧ ボランティアの活動内容

答え 【内容】 読みきかせ (小学校 19 校)
ブックトーク (小学校 5 校)
おはなし会 (小学校 2 校)
工作 (小学校 2 校)
パフォーマンス (小学校 1 校)
無回答・その他 (小学校 2 校)

【対象】 全学年 (小学校 16 校)
無回答・その他 (小学校 5 校)

【回数】	週に数回	(小学校 10校)
	月に数回	(小学校 12校)
	学期に数回	(小学校 6校)
	年に数回	(小学校 2校)
【時間】	30分未満	(小学校 20校)
	30分以上	(小学校 5校)
	無回答	(小学校 2校)

問⑨ ボランティアを活用していない理由

答え	必要がない	(小学校 0校 / 中学校 2校)
	人かない	(小学校 1校 / 中学校 2校)
	その他	(小学校 0校 / 中学校 7校)

※「人的、時間的余裕がない」「ボランティア募集の流れがない」「活用を考えていない」などの回答もありました

問⑩ 「読書活動推進計画」を作成している

答え	はい	(小学校 22校 / 中学校 10校)	いいえ	(小学校 0校 / 中学校 1校)
----	----	---------------------	-----	-------------------

問⑪ 「学校図書館図書標準」を達成している

答え	はい	(小学校 3校 / 中学校 0校)	いいえ	(小学校 19校 / 中学校 9校)
	その他	(小学校 0校 / 中学校 2校)		

問⑫ 「学校図書館図書標準」の達成率

答え	80%未満	(小学校 13校 / 中学校 6校)
	80%代	(小学校 4校 / 中学校 2校)
	90%代	(小学校 2校 / 中学校 1校)

問⑬ データベース化に取り組んでいる

答え	はい	(小学校 14校 / 中学校 6校)	いいえ	(小学校 7校 / 中学校 5校)
	無回答	(小学校 1校 / 中学校 0校)		

問⑭ 司書教諭を持つ図書主任がいる

答え	はい	(小学校 6校 / 中学校 6校)	いいえ	(小学校 16校 / 中学校 4校)
	無回答	(小学校 0校 / 中学校 1校)		

問⑮ 司書教諭を持つ教職員がいる

答え	はい	(小学校 18校 / 中学校 10校)	いいえ	(小学校 4校 / 中学校 1校)
----	----	---------------------	-----	-------------------

問⑯ 求める読書支援サービス

答え	読みきかせ・ブックトーク	(小学校 12校 / 中学校 5校)
	資料の並べ方相談	(小学校 11校 / 中学校 2校)
	研修会の開催	(小学校 6校 / 中学校 4校)
	調べ学習の支援	(小学校 13校 / 中学校 3校)
	貸出セット・団体貸出サービス	(小学校 12校 / 中学校 3校)
	その他	(小学校 0校 / 中学校 3校)
	特になし	(小学校 1校 / 中学校 0校)

※「選書のアドバイス」や「購入図書を選定」、「図書登録業務の支援」、「図書館との連携」という回答もありました

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

- 蔵書や図書室の環境の充実を希望する
- 移動図書館を児童がとて楽しみをしている
- 本を選ぶアドバイスなどにより、読書への興味が高まっている
- 図書室が心の癒しの場となるように、行きたくなる雰囲気づくりができるような図書室運営が大事
- 学校司書の先生に毎週来てもらいたい変動かっている。今後も学校司書の先生は必要
- 蔵書のデータベース化により、市立図書館や他の学校図書館との連携が取ればより読書活動が推進するのではない
- 小中学校の図書室にも専任・専門・正規の学校司書を配置してほしい
- データベース化は実際の推進活動には活用できない。スムーズな貸出などのために電子化を実現してほしい

(3) 高等学校向けアンケート (回答数: 5校)

問① 「読書の時間」を設けている

答え はい (4校) いいえ (1校)

問② 学校図書館を毎日開館している

答え はい (5校) いいえ (0校)

問③ (①が「いいえ」の場合のみ) 学校図書館の開館時間

答え ※該当校なし

問④ 生徒数及び貸出冊数 (平成26年度)

答え 【生徒数】 700人未満 (2校)
700人以上 (2校)
無回答・その他 (1校)

【貸出冊数】 2,000冊未満 (2校)
2,000冊以上 (2校)
無回答・その他 (1校)

【生徒1人当たりの貸出冊数】

1冊未満 (1校)
5冊未満 (2校)
5冊以上 (1校)
無回答・その他 (1校)

問⑤ 読書活動推進のための取組を行っている

答え はい (5校) いいえ (0校)

問⑥ 取組の内容 (複数回答あり)

答え 本の紹介 (2校)
本の展示 (3校)
としょかんだより・広報誌発行 (3校)
無回答・その他 (1校)

問⑦ 専任の学校司書を配置している

答え はい (5校) いいえ (0校)

問⑧ ボランティアを活用している

答え はい (5校) いいえ (0校)

問⑨ 「読書活動推進計画」を作成している
 答え はい (0校) いいえ (4校) 無回答・その他 (1校)

問⑩ データベース化に取り組んでいる
 答え はい (3校) いいえ (2校)

問⑩ 求める読書支援サービス
 答え 読みきかせ・ブックトーク (0校)
 資料の並べ方相談 (0校)
 研修会の開催 (0校)
 貸出セット・団体貸出サービス (2校)
 特になし (1校)
 無回答・その他 (2校)

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

- 市内の高校生と小中学生が本を通して交流できる場があればいいと思う
- 表紙が見えるような手に取りやすい工夫してほしい(子供向け書籍、雑誌コーナーなどのように)
- 映像化されたものに興味を示す傾向もあるので、特設コーナーを設けてはどうか

(4) 児童館向けアンケート(回答数: 8館)

問① 毎日、読みきかせの時間を設けている
 答え はい (0館) いいえ (8館)

問② 週に読みきかせの時間を設けている
 答え はい (0館) いいえ (8館)

問③ ボランティアを活用している
 答え はい (1館) いいえ (7館)

問④ ボランティアの活動回数
 答え 年数回 (1館)

問⑤ ボランティアを活用しない理由
 答え 職員が実施 (2館)
 ボランティアがいない (2館)
 無回答・その他 (3館)

問⑥ 館で貸出を行っている
 答え はい (8館) いいえ (0館)

問⑦ 図書館の団体貸出を利用している
 答え はい (5館) いいえ (3館)

問⑧ 団体貸出を利用していない理由
 答え 館で充実している (0館)
 時間がない・遠い (1館)
 利用方法が分からない (0館)
 無回答・その他 (2館)

※「今後、利用を検討したい」などの回答もありました

- 問⑨ 求める読書支援サービス
- 答え 読みきかせ・おはなし会 (8館)
 研修会の開催 (1館)
 貸出セット・団体貸出サービス (3館)
 除籍本の提供 (5館)

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

○ボランティアについての情報がほしい

○定期的に児童館で読みきかせできたらいいと考える

○乳幼児と保護者を対象に絵本の読みきかせと本の紹介を市立図書館職員に実施していただき好評でした。今後も実施していきたい

(5) 放課後児童クラブ向けアンケート (回答数：19クラブ)

- 問① 毎日、読みきかせの時間を設けている
- 答え はい (6クラブ) いいえ (13クラブ)
- 問② 週に読みきかせの時間を設けている
- 答え はい (13クラブ) いいえ (0クラブ)
- 【回数】 週1回 (5クラブ)
 週2回 (6クラブ)
 週3回 (1クラブ)
 無回答・その他 (1クラブ)
- 問③ ボランティアを活用している
- 答え はい (3クラブ) いいえ (16クラブ)
- 問④ ボランティアの活動回数
- 答え 夏休み (2クラブ)
 年1回 (1クラブ)
- 問⑤ ボランティアを活用しない理由
- 答え 職員が実施 (15クラブ)
 ボランティアがいらない (2クラブ)
 無回答・その他 (1クラブ)
- 問⑥ 児童クラブで本を所蔵している
- 答え はい (19クラブ) いいえ (0クラブ)
- 問⑦ 児童クラブで貸出を行っている
- 答え はい (3クラブ) いいえ (16クラブ)
- 問⑧ 本の調達方法
- 答え 購入 (4クラブ)
 個人からの寄贈 (2クラブ)
 職員持参 (2クラブ)
 図書館で借りる (4クラブ)
 図書館の除籍本 (1クラブ)

問⑨ 図書館の団体貸出を利用している

答え はい (14 クラブ) いいえ (5 クラブ)

問⑩ 団体貸出を利用していない理由

答え 充実している (0 クラブ)
時間がない・遠い (4 クラブ)
利用方法が分からない (0 クラブ)
無回答・その他 (1 クラブ)

問⑪ 求める読書支援サービス(複数回答あり)

答え 読みきかせ・おはなし会 (10 クラブ)
研修会の開催 (4 クラブ)
貸出セット・団体貸出サービス (4 クラブ)
特になし (4 クラブ)
無回答・その他 (1 クラブ)

子どもの読書活動の推進についての意見・提案

- 図書館で開催しているおはなし会などに気軽に参加できるようにしたい
- 研修会などで勉強する機会がほしい
- 開館時間がもう少し早ければ利用できると思う
- 団体利用を活用したい
- 大型絵本や紙芝居などを選ぶアドバイスがほしい
- 読みきかせに図書館の本を利用して大変助かっている
- 3、4年生を中心に読みきかせプロジェクトを組んで紙芝居を読んでもらうこともある
- 児童クラブの本にも限りがあるので、図書館の本を活用したいと考えている
- おすすめ本などの本の紹介をもっとしてほしい
- 高学年の利用が多く、本の読みきかせを実施することがなかった
- 低学年の利用が増えてくるので、読みきかせを行ってほしいと思う
- 宿題と遊びで時間が過ぎてしまう
- 本離れをしている子供たちが本当に多いと感じる
- 全体的に読書離れがあり、視覚の方に関心がある傾向がある
- 集中して読書に取り組む児童は、家族が本に親しめる環境を提供している様子
- 歴史・動物に関心を持つ児童もあり、その方向からも本を身近に置いてほしいと思う

『平成27年度 全国学力・学習状況調査』の分析

問 読書は好きですか

		小学6年生		中学3年生	
		全国	福知山市	全国	福知山市
回答	当てはまる	48.9 %	48.1 %	44.9 %	44.9 %
	どちらかといえば当てはまる	23.9 %	23.3 %	23.0 %	23.3 %
	どちらかといえば当てはまならない	15.7 %	15.5 %	16.8 %	16.7 %
	当てはまらない	11.5 %	13.1 %	15.0 %	15.1 %

問 学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか

		小学6年生		中学3年生	
		全国	福知山市	全国	福知山市
回答	2時間以上	7.5 %	4.8 %	6.3 %	6.9 %
	1時間以上2時間より少ない	10.1 %	9.2 %	8.7 %	5.3 %
	30分以上1時間より少ない	20.1 %	18.6 %	15.6 %	14.6 %
	10分以上30分より少ない	26.5 %	28.9 %	21.6 %	22.3 %
	10分より少ない	15.8 %	17.9 %	12.7 %	16.1 %
	全くしない	19.9 %	20.6 %	35.0 %	34.6 %

問 昼休みや放課後、休校などの日に本を読んだり借りたりするために学校図書館や図書館にどれくらい行きますか

		小学6年生		中学3年生	
		全国	福知山市	全国	福知山市
回答	週に4日以上	3.4 %	0.9 %	2.2 %	1.2 %
	週1～3回程度	14.2 %	11.6 %	6.0 %	2.4 %
	月1～3回程度	23.1 %	27.4 %	11.4 %	10.1 %
	年に数回程度	28.4 %	32.0 %	23.1 %	18.4 %
	ほとんど行かない	30.7 %	28.1 %	57.0 %	67.8 %

問 昼休みや放課後、休校などの日に本を読んだり借りたりするために学校図書館や図書館にどれくらい行きますか

		小学6年生		中学3年生	
		全国	福知山市	全国	福知山市
回答	ほぼ毎日	8.7 %	8.0 %	6.8 %	6.5 %
	週に1～3回程度	15.0 %	17.6 %	12.0 %	13.0 %
	月に1～3回程度	21.9 %	25.0 %	19.1 %	21.2 %
	ほとんど読まない	54.3 %	49.3 %	61.8 %	59.0 %

策定委員会 委員等名簿

(◎…委員長、○…副委員長)

(敬称略、役職等は平成27年7月現在)

区 分	氏 名	所属・役職名 等
学 識 経 験 者	◎岩崎 れい	京都ノートルダム女子大学 教授 (司書・司書教諭課程及び図書館情報センター兼任)
	神谷 達夫	成美大学 教授(メディアセンター所長)
福知山市立 図書館協議会	○仲野 恵子	福知山市立図書館協議会 副委員長
小学校・中学校	衣川 敏郎	福知山市立遷喬小学校 校長
保育園・幼稚園	大西 俊子	福祉保健部下夜久野保育園 園長
ボランティア	勝村 優子	読みきかせボランティア 「日新おはなし探検隊」 代表
行 政	池田 聡	教育委員会事務局 教育部長

庁 内 委 員	西山 めぐみ	福祉保健部 健康推進室
	今井 直美	福祉保健部 子育て支援課
	岩田 万里子	福祉保健部 堀児童館
	赤松 さくら	教育委員会事務局 教育総務課
	足立 郁郎	教育委員会事務局 学校教育課
	谷垣 文代	教育委員会事務局 生涯学習課